



The Wind of Okhotsk Blue !
▼第 28 回インターナショナル
7/10▶11▶12 オホーツクサイクリング 2009

今年で 28 回を迎えたオホーツクサイクリング。雄武町をスタートし、ゴールの斜里町までの 212 km のコースを 2 日間で走破する北海道ならではのイベントです。今年も 800 名を超えるサイクリストが参加され、オホーツク海沿岸の豊かな自然を楽しみながらゴールを目指しました。佐呂間町には 11 日の 14 時 30 分頃に入り、キムアネップ岬に設置した休憩所でバナナやジュースなどを口にしてもらいましたが、あいにくの空模様で疲れた様子の方もみられましたが、一息入れ元気を取り戻し、再び 1 日目のゴールを目指していきました。



7/18 めざせ！なでしこ！！
▼ガールズサッカー教室



網走地区サッカー協会及び町サッカー協会の主催によるガールズサッカー教室が行われました。小学校 1 年生から中学生まで、網走管内より約 25 名（うち佐呂間町内より 12 名）が集まり、ドリブルやパスの練習、ミニゲームなどを行いました。低学年のクラスでは、ボールを使いながら体を動かすメニューを中心に指導され、子どもたちは、楽しみながらサッカーに慣れ親しんでいく様子が見られました。また、高学年のクラスでは、少年団や学校の部活に所属して活躍している参加者もいて、男の子顔負けのプレーがたくさん見られました。これからの活躍が楽しみです。



7/17 防災・地域情報の提供や災害時の飲料無償提供
▼「災害対応型自動販売機による協同事業に関する協定」締結

佐呂間町が、北海道コカ・コーラボトリング㈱との「災害対応型自動販売機による協同事業に関する協定」を締結し、運用を開始しました。北海道コカ・コーラボトリング㈱は、北海道との間で、災害における飲料水の確保と平常時の地域防災力強化のため「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」を2006年12月に締結。佐呂間町でもこれに基づいた協定が締結されました。

災害対応型自動販売機は、搭載する電光掲示板を通じて、パソコンからの遠隔操作により文字情報を表示することが可能で、佐呂間町から、平常時には防災情報や地域情報を配信し地域住民の防災意識の高揚をはかるとともに、緊急時には災害情報の配信や、同様の遠隔操作により自動販売機内の飲料水の無料提供を行うなど、行政の地域住民への情報提供サービスと地域防災力強化を支援するものです。

17日に川根町長と同社北見事業所長による協定書手公式が行われ、その後、庁舎ロビーに設置した自動販売機運用開始の点灯式が行われました。

PUZZLE

～124（みんな）の思いが一つになるとき～。



7/18 ▼佐高祭パフォーマンス

7月18・19日に『第60回佐高祭』が行われました。今年のテーマは「PUZZLE～124（みんな）の思いが一つになるとき～」。

1日目は、役場庁舎前にて、パフォーマンスが行われ、各クラスとも工夫を凝らした衣装と振り付けで、訪れた観客の皆さんを楽しませてくれました。



●からだづくり

からだづくりと生きていく力。さるまの子どもたちは



姿勢がぐんにやり!!
子どもの体力低下?

子どもに携わる関係機関が集まった話し合いの中で、「椅子に

座っても姿勢がすぐにぐんにやりする。」休みの日はテレビゲーム



お問い合わせ
保健福祉課 保健推進係 Tel 2・1212

●今回のげんき王国では、町の健康づくり計画「すげい町サロマ21」の評価として、昨年1年間、健康づくりや子育ての現状について話し合いをすすめてきた中で見えてきた、佐呂間町の子どもたちが抱える健康問題とは何かをいくつか紹介したいと思います。

子どもたちの健やかな成長発達のためには、「健康なからだ」はもちろん、考える力や人との関わり、相手の気持ちを察する力、決まりごとを守るなどの「生きていく力」を身につけることが重要です。

「からだ」と「生きていく力」は密接です。この2点から子ども達に育んでほしい力を考えてみます。

で遊び、外でからだ全体を使った遊びをしていないように感じる。」など子どもの体力面を心配する声がありました。

子どもの体力低下は、全国的に問題となっていますが、佐呂間町でも、テレビゲームなど室内での遊びが増え、外遊びが減少していることや、少しの距離でも車による送迎が多くなるなどの社会環境の変化もあり、歩くこと自体が減ってきている現状があります。

からだづくりのためには、赤ちゃんの頃から充分に体を動かすことが大切です。特にハイハイは体を支える腹筋や背筋力の発育を促し、それが後々の姿勢の保持や

手先の器用さにつながると言われていて、歩行器を使用するよりも全身の力を使うハイハイの方が赤ちゃんの発達の過程では好ましいと考えられています。

体を使う遊びの経験（たとえば「はないちもんめ」や「かごめかごめ」が多いと、考えたり記憶したり、やる気や集中力を高めるなど学習面での効果につながるという研究もあります。子どもの数が減り、子ども同士が自然に体を使って遊びまわることが少なくなってきた状況の中では、赤ちゃんの頃から保護者が意識してお子さんと遊び、お子さんに多様な体験をさせることが必要だと思えます。

●生きていく力



達成感、安心感が生きていく力の根源!!

乳 幼児健診などの事業を通して、子どもの集中力や好奇心、こ

とばの発達に関する相談が増えています。核家族化が進む中で、わが子の成長や子育て方法についてアドバイスを受ける機会が少なく、子育てに悩んでいる保護者が増えている実態があります。

子ども生きていく力は、お子さん一人ひとりの発達に見

合った豊富な経験を積ませることで育まれていきます。また、お子さんの顔がみんな違うように、個性や成長発達のスピードもさまざま

セーフティロード☆サロマ

毎月1日は佐呂間交通安全の日、15日は道民交通安全の日

● 夏の交通安全運動実施

7月16日から26日までの『夏の交通安全運動』期間中に、佐呂間町においても、子どもの交通事故防止などを重点とした運動が実施されました。期間中には、「浜佐呂間はまなすクラブ」、「佐呂間悠友クラブ」の皆さんが、それぞれ街頭啓発として「旗の波作戦」を展開し、ドライバーにスピードダウンやシートベルト着用などを呼びかけました。

● レジャー型事故の防止

行楽最盛期です！わずかな油断が事故を誘発します。

■ 余裕の運転計画を

渋滞中にイライラし、渋滞が解消された後や、渋滞を避けようと裏道等でスピードを出して走行するのは重大な事故のもとです。余裕をもった運転計画を立てましょう。

■ 疲れ・眠気を感じたら休憩を

運転中に眠気を感じたら、直ちに停車し休憩または仮眠をとる、下車してストレッチをする、水分を補給するなどの対処をとりましょう。また、窓を開け外気にあたり、室温を低くする。正しい運転姿勢を保つことも効果的です。

● 夜光反射材をご利用ください

佐呂間町交通安全対策本部では、夕暮れどきや夜間の歩行者の交通事故防止対策として、交通安全教室などの際に夜光反射材を配布しています。個人で希望される方にも配布いたしますので、役場町民課住民活動係（TEL 2・1213）へお越しください。

※反射材は、手首などに巻き付けるタイプと、靴などに貼るタイプがあります。



▼ 交通死亡事故ゼロ運動
225日（7月26日現在）

▼ 交通事故発生状況
（平成21年6月末）
発生 9件（+2件）
死亡 0人（±0人）
傷者 12人（+4人）
（一）内は前年比
発生件数は人身事故の件数

▼ STOP ザ 交通事故
道路では ボールあそびは きけんだよ
浜佐呂間小学校4年 今地孝樹

デイライト運動通年展開中
昼間点灯で交通事故減少の効果！
皆さんもぜひ参加してください。

「やったー！」「がんばった！」「や
子ども自身のあるがままの姿を
受け止めて、ほんの少し頑張れば
出来そうなることをチャレンジさ
せ、「頑張った過程をほめてあげる。
ます。発達途中のお子さんに無
理な経験をさせると、無力感や挫
折感だけが強くなる場合もありま
す。

「来た！」という達成感を感じさせ
ることが大事なのです。この達成
感と安心感が、その後の様々な物
事への意欲につながり、粘り強く
頑張れたり、人とのやり取りを楽
しむきっかけになり、社会生活の
経験を積み重ねることで生きてい
く力が育み、伸びていくのです。

● おわりに

町では、お子さんの「からだ」
や「生きていく力（ことばやこ
ころ）」を育み、伸ばしていくた
めに、遠軽町母子通園センター
を「子ども発達支援センター」
として指定しています。ここ
では専門的な視点から、お子さん
の得意なことや苦手なことを見
極め、お子さんにあった関わり
方のアドバイスをしたり、「から
だづくり」や「生きていく力」
を育むサポートをしています。

子どもは可能性を秘めた地域
の宝です。地域全体で子ども達
や子育てを見守り、時にはアド
バイスや助け合うことのできる
「すこやか」で「げんき」で「い
きいき」とした地域づくりをみ
んなですすめましょう。